

乳幼児期(0～6歳)の食育

1) 妊婦や保護者への食育

| 対策 | 概要 | 25年度の取り組み・実績 | 26年度の取り組み予定 | 担当課 |
|----------------|------------------------------|-----------------------|--|-------------------|
| ③ 妊産婦に対する食育の充実 | 母子健康手帳配布時に子どもと母親への食育に関する情報提供 | 妊産婦および幼児の食育パンフレットの作成。 | 妊産婦パンフレットは県内産院に配布活用を、幼児向けパンフレットは市町村健診時に活用予定。 | 健康づくり推進課 保健予防課 |

2) 保育所・幼稚園等での食育

| 対策 | 概要 | 25年度の取り組み・実績 | 26年度の取り組み予定 | 担当課 |
|--------------------------------|---|---|--|--------|
| ① 保育所・幼稚園等での指導体制の充実 | 保育所での食育に関する計画策定・策定支援 | 食育計画を策定している保育所94. 2%(平成24年度末) | 監査指導時に個別指導を行う | 子育て支援課 |
| | 保育所での食育に関する人材育成や地域講習会等の開催 | 食に関する地域講習会等の開催に取り組む保育所59. 0%(平成24年度末) | 保育所給食担当栄養士会議及び児童福祉施設給食関係者研修会において、保育所主管課の栄養士に対する情報提供・情報交換を行い、食育が推進されるよう検討を行う。 | |
| | 施設長、栄養士、調理員、保育士、教員等関係者に対する研修、個別相談・指導や連絡調整 | 保育所給食担当栄養士会議1回 19名(後1回開催予定) 児童福祉施設給食関係者研修会1回実施予定 個別相談・指導:随時 | 保育所給食担当栄養士会議4回 児童福祉施設給食関係者研修会1回 個別相談・指導:随時 | |
| | 地域の人材を活用した食育の推進 | 地域の方と、一緒に農作物の収穫やもちつき大会など行っている。 | 食育の関する研修会への参対象者とし幼児・児童・生徒へと発達段階に応じた食育の取組について情報提供しながら啓発する | 保健体育課 |
| ② 保育所・幼稚園等での指導内容の充実 | 農作物を育てて調理して食べる体験活動や伝統食等を通じた取り組みの推進 | 地域の方と、一緒に農作物の収穫やもちつき大会など行っている。 | 保育所給食担当栄養士会議及び児童福祉施設給食関係者研修会において、保育所主管課の栄養士に対する情報提供・情報交換を行い、食育が推進されるよう検討を行う。 | 子育て支援課 |
| ③ 保育所・幼稚園・地域・家庭との連携・協力による食育の推進 | 保護者に対する食に関する相談や講習会の開催(啓発や情報提供) | 飼育・栽培体験に取り組む保育所98. 6%地域の伝統的な食事に関わる体験77. 0%(平成24年度末) | | |
| | 地域の人との会食に関わる取り組みの推進 | 保護者に対する食に関する相談や講習会の開催に取り組む保育所96. 4%(平成24年度末) | 引き続き、各園において、家庭・地域と連携し、食に関する活動を通じた啓発、情報提供を行う予定。 | 学校教育課 |
| | 保護者に対する食に関する相談や講習会の開催(啓発や情報提供) | 家庭・地域と連携した食に関する活動を通じた啓発、情報提供。 | | |

少年期(7～18歳)の食育

1)小学校・中学校・高校における食育

| 対策 | 概要 | 25年度の取り組み・実績 | 26年度の取り組み予定 | 担当課 |
|----------------------------|---|---|--|----------|
| ① 小学校・中学校・高校における指導体制の充実 | 食育を学校教育の指導方針の重点課題に位置づけ、全校で取り組み推進 | 各学校で充実・推進 各校種別に新規採用者研修講座に「食育」を組み入れ指導者の資質向上を図った。 | 継続して実施 | 保健体育課 |
| | | 「学校教育の指導の重点」を全教職員に配布。 | 引き続き、「学校教育の指導の重点」に位置付け、取組を推進する予定。 | 学校教育課 |
| | 栄養教諭・学校栄養職員研修会の開催。新規採用栄養教諭研修講座の開催 | 栄養教諭・学校栄養職員研修会 2回開催 新規採用栄養教諭研修講座 5回開催 新規採用者配置校への訪問指導3回 7月31日・8月1日全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会を奈良県で開催 参加者1300名 | 栄養教諭・学校栄養職員研修会 新規採用栄養教諭研修講座 新規採用者配置校への訪問指導 継続して実施 | |
| | 学校医、学校歯科医などと連携し、栄養教諭・学校栄養職員を中心に教職員が行う個別指導の充実 | 食物アレルギー対応 平成25年度の状況 除去食の提供 1,045 代替食の提供 267 詳細の献立表の提供 3060 弁当持参 167 食物アレルギー対応について研修会を実施 | 継続して把握 研修会実施予定 平成26年10月9日新規採用栄養教諭・栄養教諭研修講座開催予定 | 保健体育課 |
| | 小中学校で取り組まれている食育の内容を把握し、効果的な取り組みの普及啓発の推進 | 栄養教諭・学校栄養職員の取組実績を把握し、情報の共有を図った。 奈良県学校給食栄養研究会で、栄養教諭・学校栄養職員による実践発表会を開催し情報の共有化を図っている。 | 栄養教諭・学校栄養職員の取組実績を把握し、情報の共有を図る。 先進的な事例を組み入れた研修会の開催 | |
| 一般教諭への栄養教諭・家庭科教員による食育研修の実施 | 県内での実施検討はできていない。 | | 健康づくり推進課 | |
| ② 給食を生かした食育の推進 | 学校給食における地産地消の取り組みの推進、伝統食材の活用や米飯給食の普及・定着 | 学校給食調理員対象に「奈良の郷土料理を味わおう」をテーマに調理実習を実施。 研修会で先進的な取組を紹介するなどして学校給食の内容に触れ充実を図っている。 | (公財)奈良県学校給食会と連携し、充実を図る。また、各種研修会等で地場産物活用促進を継続的に進める。 | 保健体育課 |
| | 給食だよりによる保護者に対する食の情報提供 | 各学校で実施 | 継続して実施 | |
| ③ 地域・家庭と連携した取り組みの推進 | 学校食育推進委員会や学校保健委員会にPTAや地域保健の関係者の参加を得て、食に関する課題についての協議の促進 | 学校健康教育推進事業において「食育推進」をテーマにした講師及び事務局担当者の派遣実績13回 | 継続して実施 | 保健体育課 |
| | 「ヘルステーム菜良」による文化祭等での高校生への食育の取り組み | 高校文化祭等での食生活改善の啓発活動の実施(2箇所) 9/6:高取国際高校 11/17:奈良県産産教育フェア(奈良朱雀高校) | 継続して実施 | 健康づくり推進課 |
| | 小学校4年～6年生の子ども達が公民館等で一緒に寝泊まりをしながら学校に通い、地域の大人達の協力のもと食事作り等の体験を通じて、家族の大切さに気づく機会とする。また、地域全体で子どもを育む意識を醸成する。 | 24年度末で事業終了 | | 協働推進課 |

| | | | | |
|--|--|---|--|-----------|
| | 農山村地域における郷土料理教室を通じて、参加者及びその保護者に対して各家庭での食育の実践と認識を図る(小学校4年生～高校3年生) | 事業終了 | | 青少年・生涯学習課 |
| | 野外活動センター主催事業「ガーデンハウスinはやま」で、都祁吐山の郷土料理を中心とした、自然の中での料理体験 | 第1回(5月19日)「石窯で焼く手作りピザ」(29人) 第2回(6月16日)「竹串ハンバーガー」(49人) 第3回(7月21日)「ナンカレー」(50人) 第4回(9月22日)「はやま流ソーセージ」(52人) 第5回(10月27日)「石窯で焼く手作りパン」(14人) 第6回(11月24日)「ダツオープンと石窯料理」(48人) 第7回(12月22日)「クリスマスランチ」(21人) 第8回(1月19日)「はやま鍋と燻製作り」(18人) | 第1回 5月18日(日) 第2回 6月15日(日) 第3回 7月27日(日) 第4回 9月28日(日) 地元野菜を使った野外料理を体験できる取り組みを実施。 | 青少年・生涯学習課 |

2)ジャンクフードや清涼飲料水対策等の研究

| 対策 | 概要 | 25年度の取り組み・実績 | 26年度の取り組み予定 | 担当課 |
|------------------------|--|---|---------------------------|----------|
| ①ジャンクフードや清涼飲料水対策のあり方検討 | ジャンクフードや清涼飲料水対策のあり方の検討や海外の社会制度の研究指導方法の検討 | ジャンクフード利用頻度や清涼飲料水の砂糖含量の認知に関する調査を実施。(少年期の食育等に関するアンケート調査) | 25年度調査結果分析もふまえ、対策のあり方を検討。 | 健康づくり推進課 |

青年期(19～39歳)の食育

1)大学における食育

| 対策 | 概要 | 25年度の取り組み・実績 | 26年度の取り組み予定 | 担当課 |
|----------------------|---|--------------------------------|-------------|----------|
| ①同年代への食生活改善への取り組みの推進 | 管理栄養士の臨地実習として食育活動に企画から参加 | 各保健所で実施 管理栄養士養成校4校の学生 計130名 | 継続して実施 | 健康づくり推進課 |
| | 「ヘルステーム食」が、大学祭や県主催のイベントで食生活改善の普及啓発活動を実施 | 各大学祭等でブース等を設置し啓発活動を実施。 | 継続して実施 | |

2)職場における食育

| 対策 | 概要 | 25年度の取り組み・実績 | 26年度の取り組み予定 | 担当課 |
|-------------|--|--|-------------|----------|
| ①事業所での食育の推進 | 協会けんぽ・地元商工会等と連携した昼食時の事業所出前講座の実施 | 葛城保健所:H262.15予定 西川運輸(株) 減塩に関する講話 吉野保健所:十川ゴム・バルカー・ソール・ル・ジョン 従業員食堂等での栄養・健康情報の提供 | 継続して実施 | 健康づくり推進課 |
| | 給食を提供する施設に研修会の実施や指導を行い、栄養管理の向上、食育推進の支援 | 保健所において栄養士・調理師等を対象とした研修会の開催および栄養管理・衛生管理に関する巡回指導の実施 | 継続して実施 | |

3)地域・家庭と連携した取り組み

| 対策 | 概要 | 25年度の取り組み・実績 | 26年度の取り組み予定 | 担当課 |
|--------------------------|--|---|-----------------------------------|----------|
| ①商工会や商店街と連携した食育の推進・支援 | 健康なら協力店事業、情報提供を実施 (朝食提供店・ヘルシーメニュー提供店の充実・拡大) | 新規協力店の拡大 (栄養士会に委託) 栄養成分表示店:203店舗 ヘルシーメニュー提供店:109店舗 朝食提供店:23店舗 栄養推進施設:76施設 (H25.2未現在) H26年度 新規店舗数21店舗(H26.1末) | ○協力店事業の周知 ○新規協力店の拡大および既存協力店の充実 | 健康づくり推進課 |
| ②地域の食育ボランティア、関係団体による取り組み | 親子料理教室への父親参加の推進 | 父と子の料理教室の開催 17市町村で17回開催(H26.1末) (食生活改善推進員連絡協議会に委託) | | |

壮年期(40～64歳)の食育

1) 職場における食育

青年期と同じ

2) 地域・家庭と連携した取り組み

| 対策 | 概要 | 25年度の取り組み・実績 | 26年度の取り組み予定 | 担当課 |
|----------------------------|--|---|---|----------|
| ① 商工会や商店街と連携した食育の推進・支援(再掲) | 健康なら協力店事業、情報提供を実施 (朝食提供店・ヘルシーメニュー提供店の充実・拡大) | 新規協力店の拡大 (栄養士会に委託) 栄養成分表示店: 203店舗 ヘルシーメニュー提供店: 109店舗 朝食提供店: 23店舗 禁煙推進施設: 76施設 (H25.2末現在) H26年度 新規店舗数21店舗(H26.1末) | ○協力店事業の周知 ○新規協力店の拡大および既存協力店の充実 | 健康づくり推進課 |
| ③ 効果的な取り組みの研究 | 壮年期世代に対する食育啓発の手法、食育事業への参加の検討 | H23年県民健康・栄養調査の詳細な分析を行い、効果的手法の検討への資料とする。 帝塚山大学食物学科に分析依頼 (分析結果は3月中旬予定) | なら健康現職プロジェクト事業において、25年度の調査分析結果も踏まえ、効果的な普及啓発方法を検討。 | |

高齢期(65歳～)の食育

1) 地域・家庭と連携した取り組み

| 対策 | 概要 | 25年度の取り組み・実績 | 26年度の取り組み予定 | 担当課 |
|---------------------|------------------------------|--|------------------------------|-------|
| ③ 食を通じたコミュニケーションの推進 | 民間企業等と連携した、食を通じたコミュニケーションを推進 | 財団法人による配食サービス 実施地域: 五條市大塔町 取組内容: 地域でくらし続けるための仕組みづくり事業(県モデル事業)の一環として、(財)大塔ふる里センターが配食サービスを平成25年7月5日から開始。 対象者は65歳以上。週2回、財団の調理員が作り、財団職員が配達。配達時のコミュニケーションを通じた見守りも実施。 | 民間企業等と連携した、食を通じたコミュニケーションを推進 | 長寿社会課 |

(1)家族との食育を楽しむ

1)家族団らんの食事機会の充実

| 対策 | 概要 | 25年度の取り組み・実績 | 26年度の取り組み予定 | 担当課 |
|------------|------------------------------------|---|--------------------------------|----------|
| ①家族との食事の推進 | 食育の日(毎月19日)のノー残業デー設定と家族と食事を楽しむ呼びかけ | ○食育ののほりによる食育の日の普及 保健所・ならコープ店舗に設置 ○桜井保健所管内一斉食育啓発活動 管内市町村・コンビニ・スーパー・学校 食生活改善推進員等食育関係団体により11月に実施 ○保健所食育推進ネットワークによる食育月間 等でのイベントの開催 | 市町村および保健所の食育推進ネットワークによる普及啓発を図る | 健康づくり推進課 |
| | 食育の日(毎月19日)の買い物ポイントアップキャンペーンの実施 | | | |

(2)調理力を高める食育

| 対策 | 概要 | 25年度の取り組み・実績 | 26年度の取り組み予定 | 担当課 |
|-------------------|---------------------------------------|---|--|----------|
| ① 中高生の調理力の向上 | ヘルステーム菜良による高校生の調理力向上講座の実施 | ヘルステーム菜良および食生活改善推進員による高校生や大学生、料理初心者向けの調理の基本、簡単調理の動画作成、発信を行う。3月末に発信予定。 父と子の料理教室の開催 県下17市町村で17回開催(H26.1末) (食生活改善推進員連絡協議会に委託) | なら健康減塩食プロジェクト事業において、「簡単減塩メニュー」等の開発 | 健康づくり推進課 |
| ② 男性の調理力の向上 | 調理初心者でもできる朝食スピードクッキング、10分クッキングメニューの開発 | | | |
| | 親子料理教室への父親参加の推進(再掲) | | | |
| ③ 効果的な取り組みの研究(再掲) | 壮年期世代に対する食育啓発の手法、食育事業への参加の検討 | H23年県民健康・栄養調査の詳細な分析を行い、効果的手法の検討への資料とする。 帝塚山大学食物学科に分析依頼(分析結果は3月中旬予定) | なら健康減塩食プロジェクト事業において、25年度の調査分析結果も踏まえ、効果的な普及啓発方法を検討。(再掲) | |

(3)歯の健康を維持・向上する食育

1)学校や職場、地域での歯の健康に関する食育

| 対策 | 概要 | 25年度の取り組み・実績 | 26年度の取り組み予定 | 担当課 |
|----------------------|-----------------------------|---|-----------------------|----------|
| ①学校での歯・口腔に関する講座の開催 | 歯科医師による口腔機能低下予防等の講演、啓発活動の実施 | 奈良県学校保健会、奈良県歯科医師会、(株)ライオンとの共済事業で口腔衛生巡遊指導を実施。(株)ライオンから派遣された歯科衛生士による指導を実施 実績 宇陀市6校 | 継続して実施 訪問校 6校程度予定 | 保健体育課 |
| ②職場での歯・口腔に関する講座の開催 | 歯科医師や歯科衛生士による職場での出前講座 | 県内7事業所で実施(歯科医師会に委託) | 県内12事業所で実施の予定(事業者に委託) | 健康づくり推進課 |
| ③地域での歯・口腔に関する講座や啓発活動 | 歯科医師による口腔機能低下予防等の講演、啓発活動の実施 | 奈良県健康長寿共同事業実行委員会が高齢者の口腔機能低下の予防等を目的として、歯科医師、歯科衛生士が地域を巡回し、講演、指導を実施 集団口腔指導回数 15市町村 18回 (H25.12末) 14市町村 17回 (H24年度) 5市町村 6回 (H23年度) | 継続して実施 | 保険指導課 |

(1)食生活情報コンテンツの開発と提供

1)情報発信

| 対策 | 概要 | 25年度の取り組み・実績 | 26年度の取り組み予定 | 担当課 |
|--------------------|---|--|--|----------|
| ①健康づくりに 関する情報提供 | 朝食スピードクッキング、10分クッキングメニューの開発(再掲) | | なら健康減塩食プロジェクト事業において、「簡単減塩メニュー」等の開発 | 健康づくり推進課 |
| | 健康長寿応援サイト「すこやかネットなら」および保健所ホームページで食育・健康情報の提供 | 適時更新を行い、充実した情報提供 | 継続して実施 | 健康づくり推進課 |
| | 県民だよりやパンフレット等によるわかりやすい情報提供 | 県民だより奈良養生訓等での情報提供 | 継続して実施 | |
| | 市町村、企業、食育関係団体等との連携による食育イベントやパネル展、教室等の開催 | ○桜井保健所管内一斉食育啓発活動 管内市町村・コンビニ・スーパー・学校 食生活改善推進員等食育関係団体により11月に実施 ○保健所食育推進ネットワークによる食育月間等でのイベントの開催(再掲) | 継続して実施 | |
| | 民間企業等と連携した、食を通じたコミュニケーションを推進(再掲) | 財団法人による配食サービス 実施地域:五條市大塔町 取組内容:地域でくらし続けるための仕組みづくり事業(県モデル事業)の一環として、(財)大塔ふる里センターが配食サービスを平成25年7月5日から開始。 対象者は65歳以上。週2回、財団の調理員が作り、財団職員が配達。配達時のコミュニケーションを通じた見守りも実施。 | 民間企業等と連携した、食を通じたコミュニケーションを推進 | |
| ②食の安全に関する情報提供 | 「奈良県食品安全・安心懇話会」の開催とリスクコミュニケーションの推進 | ○奈良県食品安全・安心懇話会 2回開催 ○リスクコミュニケーション 2回開催 ・ジュニア食品安全ゼミナール ・なら食に関するリスクコミュニケーション | 奈良県食品安全・安心懇話会 2回開催予定 リスクコミュニケーションはテーマを考え、1~2回開催予定 | 消費・生活安全課 |
| | 食の安全についての普及啓発の推進(HPでの情報発信、保健所による学校等での出前講座の実施) | ○ホームページアクセス数 9,563件 (H25.4.1~H25.12.31) ○講習会等開催数 75回 参加人数 3,523人 (H25.4.1~H25.12.31) | 常に新しい情報の発信に努め、県民に分かりやすいホームページを目指す。 保健所単位で、県民の生活に密着した食の安全・安心に関する講習会等を実施。 | |
| | 「食品表示110番」に寄せられた表示疑義情報に対して、調査・指導を行い、食品表示の適正化を推進 | ○食品表示110番 平成24年 22件 平成25年12月末 10件 | 県庁担当係の電話・FAX番号を公表し、食品表示疑義情報を収集。必要な調査・指導を実施し、食品表示の適正化を推進。 | |
| | 奈良県産情報開示農産物の表示制度を普及 | 県産農産物への消費者の信頼性向上を目的として、イチゴ、ナス、カキ、ウメ延べ18検体について、農作物の農薬残留調査を行い、全て基準以下。 | 左記について同様の取組を行う。 | 農業水産振興課 |
| | 県産農産物のPR活動を奈良の歴史や観光と関連付けて実施 | 大和野菜の紹介において、戦前から県内で生産が行われている伝統野菜と、生産方法や品種にこだわったこだわり野菜に分けて紹介している。 | 左記について同様の取組を行う。 | |
| | 学校等での自発的協力者との食情報の提供活動を実施 | 県内民間組織が桜井市内の小学校及び奈良市内の中学校において大和野菜の栽培から調理までの教育を実施することに支援。 | 県による大和野菜を用いた食育を予定。 | |
| | 奈良の食文化や「地の味・土の香」(朝市・直売所)について「食と農のポータルサイト」で紹介 | ○定期的な更新 | 継続して実施 | マーケティング課 |

| | | | | |
|-----------------------|---|---|---|----------|
| ③食文化・農に関する情報提供 | ホームページ等により、農林業農山村情報を都市住民へ発信 | ○「食と農のポータルサイト」における発信 | 継続して実施 | マーケティング課 |
| | | ○「兼業農家応援ページ」により、菜園づくり他農業の情報を発信した ○「がんばる奈良の農業者」により奈良の農業者の現状を広く発信した | 引き続き、ホームページを活用し、奈良の農業者や農業の情報提供を通じて、広く県民へ奈良の農業への理解を促進していく予定 | 地域農政課 |
| | | 大和野菜のリーフレットの改訂のほか、ホームページ及び県政出前トーク・講習会等を通じて、消費者に対して幅広く情報提供を行った。 | ホームページ及び県政出前トーク・講習会等を通じて、消費者に対して幅広く情報提供を行っていく。 | 農業水産振興課 |
| | 大和の伝統野菜等の紹介およびそのレシピの情報提供 | 開設中の「ならグリーンツーリズム」に情報掲載し都市と農村の交流イベント等の情報を提供 新たに農村の景観情報も掲載し、美しい四季情報も提供 | 引き続き、「ならグリーンツーリズム」等にイベントや美しい四季農村景観情報などを情報掲載すると共に、ウォーク、自転車等による農村周遊による交流情報等の掲載も検討していく予定 | 農村振興課 |
| | | ホームページ及び講習会等を通じて、消費者に対して幅広く情報提供を行った。 | ホームページの更新を随時行うとともに、リーフレットを改稿し、引き続き情報提供を行っていく。 | 農業水産振興課 |
| 農に関する情報発信と体験の充実(食農教育) | 「子供たちのこめ支援事業」により、小学生にお米作り体験をしてもらい、奈良県農業への理解と食への関心を働きかけた | 引き続き、事業を活用し、多くの小学生に食農教育を推進予定 | 地域農政課 | |
| | 農村資源を活用した地域づくりとして、農業体験を通じた都市と農村の交流事業を地域住民等の参画により県内各地で実施 | 平成25年度に引き続き、農村資源を活用した地域づくりとして、農業体験や農村景観等を通じた都市と農村の交流事業を支援していく予定 | 農村振興課 | |

2) 食生活情報に関する提供手法の研究等

| 対策 | 概要 | 25年度の取り組み・実績 | 26年度の取り組み予定 | 担当課 |
|-------------------------|---------------------------------|---|---|----------|
| ①若い世代を対象にした情報提供手段、内容の充実 | ヘルスチーム菜良による若い世代への情報提供ツールの検討、開発。 | ヘルスチーム菜良および食生活改善推進員による高校生や大学生、料理初心者向けの調理の基本、簡単調理の動画作成、発信を行う。3月末に発信予定。(再掲) | なら健康現職プロジェクト事業において、25年度の調査分析結果も踏まえ、効果的な普及啓発方法を検討。(再掲) | 健康づくり推進課 |

(2) 食育の担い手や県産品確保などの食育資源の充実

1) 県民の食生活を支える事業者等との連携による食育推進の支援

| 対策 | 概要 | 25年度の取り組み・実績 | 26年度の取り組み予定 | 担当課 |
|--------------------|--------------------------|---|--|---------------------|
| ①生産者との連携による食育推進の支援 | 農産物直売所の支援による地産地消の推進 | ○専門家等による店舗レイアウトの改善等の運営指導 ○安全安心な農産物の提供のための農業モニタリング調査の実施 | 継続して実施 | マーケティング課 |
| | 県産品・ブランド農畜産物の販売促進 | ○県内量販店「おいしい奈良産協力店」において、生産者による試食PRを実施 ○6次産業化や農商工連携を目指す事業者へのアドバイス等を実施 | 継続して実施 | マーケティング課 |
| | | 「大和野菜」、「奈良の柿」等、県産農産物の販売について、荒井知事が首都圏の市場においてトップセールスを実施。 | 引き続き「大和野菜」、「奈良の柿」等、県産農産物に関して首都圏への流通支援と販売促進を図っていく。 | マーケティング課 農業水産振興課 |
| | | 大和畜産ブランドのPR・販路拡大への支援 | 大和畜産ブランドのPR・販路拡大への支援 | 畜産課 |
| | 食文化(郷土料理・伝統食等)の継承の取り組み推進 | 奈良県指導農業士会およびOB会が、県内産の食材のPRを目的に開催した「県産グルメフェア」に対して支援を行った 奈良県農村生活研究グループ協議会が取り組む郷土食・行事食をベースにした地産地消レシピの開発・消費者へのPR活動に対して支援を行った | 県産農産物や奈良の伝統料理等を活用した新たな消費拡大をはかる活動に対して助成を行う「新たな農業力開発・発掘支援事業」により、生産者自らが県内消費者へ働きかける活動を支援していく予定 | 地域農政課 |

| | | | | |
|------------------------|--|---|-----------------------------------|----------|
| ②食品関連事業所との連携による食育推進の支援 | 商工会や商店街と連携した朝食提供店の紹介・支援 | 健康なら協力店事業で実施 | 継続して実施 | 健康づくり推進課 |
| | 小売店での地場産物の利用促進 | ○「おいしい奈良産協力店」の掘りおこしと登録 ○のぼり・ポスター・POP等のPR資材を協力店に対し配布 ○協力店に関する情報を県HPへ掲載 | 継続して実施 | マーケティング課 |
| | 県産品・ブランド農畜産物の販売促進(再掲) | ○奈良の食のギフト「奈良まるごと便」を通じて、県産農産物や加工食品等の食の魅力を発信 ○nara in the box、奈良まほろば館等における販売プロモーション | 継続して実施 | マーケティング課 |
| | 郷土料理や特産品料理の紹介、支援 | ○「(一社)奈良のうまいもの会」によるイベント等でのPRおよびそれに対する支援 ○県HP等での紹介 | 継続して実施 | マーケティング課 |
| ③外食事業者との連携による食育推進の支援 | 健康なら協力店事業の充実、拡大(成分表示・ヘルシーメニュー・朝食の提供等)(再掲) | 新規協力店の拡大(栄養士会に委託) 栄養成分表示店:203店舗 ヘルシーメニュー提供店:109店舗 朝食提供店:23店舗 禁煙推進施設:76施設(H24年度) H25年度 新規登録店舗数 21店舗(H26.1現在) | ○協力店事業の周知 ○新規協力店の拡大および既存協力店の充実 | 健康づくり推進課 |
| | 飲食店での地場産物の利用促進 | ○「奈良フードフェスティバル」の開催や、「眺望のいいレストラン」の認定 ○飲食店と生産者のマッチングを推進する取り組みの実施 | 継続して実施 | マーケティング課 |
| | 農商工連携等による起業活動などを通じた伝統的な食材や料理・加工品などの情報提供を実施 | ○6次産業化や農商工連携を目指す事業者へのアドバイス等を実施 | 継続して実施 | マーケティング課 |

2) 食育に取り組む人材の育成・支援

| 対策 | 概要 | 25年度の取り組み・実績 | 26年度の取り組み予定 | 担当課 |
|---------------------------|--|--|--|----------|
| ①食育に取り組む団体・個人の活動の促進、支援 | 食品表示サポーターの登録 | ○食品表示サポーター登録者 48名 | 一般消費者に食品表示の確認・報告をいただく「食品表示サポーター」制度を実施。 | 消費・生活安全課 |
| | 食生活改善推進員の資質向上のための研修会等の開催、技術支援(ボランティア) | リーダーを中心として保健所が研修会および事業実施への指導、支援の実施 各保健所5~6回実施 | 継続して実施 | |
| | 管理栄養士、栄養士の資質向上のための研修会、事業検討会等の開催 | 保健所で主に在宅、市町村の管理栄養士、栄養士に対し研修会の開催、指導等を実施 保健所で12回実施 | 継続して実施 | |
| ②食育に取り組む人材の育成 | 管理栄養士の臨地実習として食育イベントに企画から参加 | 各保健所の食育イベントに合わせ、実習生に一つの部門を担当させ、企画から実施まで行わせた。 | 継続して実施 | 健康づくり推進課 |
| | 県における食育の担い手の支援および活用 | 地域活動栄養士食育推進スキルアップ研修会の開催 9/25.10/28 開催 参加者46人 「小児の発育と栄養評価」 | 継続して実施 | |
| | 県内大学共同による県民向け「(仮称)食育マスター」の養成((仮称)奈良県食育大学の開催) | 食育の周知を図り、自分の食生活管理が出来る県民や食育を普及する人を増やすため、県内大学等と連携による「食育県民講座」を開催 開催回数 5回 | 継続して実施 | |
| ③食育に取り組む団体・個人などのネットワークづくり | 食育推進に関わる人達のネットワークを図り、情報共有や連携した取り組みを推進(食育推進ネットワークの活用促進) | 保健所における食育推進連絡協議会で情報交換及び共同による事業企画等によりネットワークを図る。 | 継続して実施 | |

(3)市町村における食育推進の支援

1)市町村での食育推進計画の策定支援

| 対策 | 概要 | 25年度の取り組み・実績 | 26年度の取り組み予定 | 担当課 |
|---------|-------------------|--|-------------|----------|
| ①計画策定支援 | 県、保健所による市町村計画策定支援 | ○市町村担当者等会議の開催 吉野保健所:8/19 ○保健所の市町村計画策定会議への参画策定への助言、資料提供 9市町村 | 継続して実施 | 健康づくり推進課 |

2)県と市町村の連携による食育の推進

| 対策 | 概要 | 25年度の取り組み・実績 | 26年度の取り組み予定 | 担当課 |
|---------------------|----------------------------------|---|-------------|----------|
| ①市町村の食育推進支援 | 食育に関わる食育の研修会の開催や食育推進に係る情報提供の実施 | 保健所が市町村食育推進会議の委員として推進のための指導、助言および情報提供を行った。 14市町村 | 継続して実施 | 健康づくり推進課 |
| | 奈良県食育推進会議委員による市町村食育推進講演会の実施 | 尾川副会長による8/19:吉野保健所の会議で講演 | 継続して実施 | |
| ②市町村の食育推進関連事業に対する助成 | 市町村が実施する食育推進関連事業に対して県がその事業の一部を助成 | 市町村が実施する食育推進関連事業に対して県がその事業の一部を助成 | 継続して実施 | |

